

みんなの「生きる」を

社会福祉法人



社会福祉法人は 全国各地で 活動しています。

社会福祉法人は、全国に約2万法人あります。
高齢者、子ども、障害者などの生活を支える福祉
サービスを提供しています。働いている職員は約
87万人、利用者は約296万人にのびります。



約 **20,000** 法人



「困った…」から 福祉サービスを、 次々と。

地域に暮らす人々が日常生活で感じている不安や
悩みを見逃さず、大切に受け止め、そこから新たな
福祉サービスをつくり出しています。社会福祉法人
ならではの役割の一つです。

閉じこもりがち
意欲低下

高齢になった親の
日常生活が心配



その課題、
私たちが解決
しましょう！



給食サービス



買い物支援



空き家を交流拠点に

「自分らしく生活したい」 を応援する。

生活困窮者やDV被害者、ひきこもり、精神疾患などで周囲のペースに合わせられない人など、さまざまな問題を抱えている人がいます。社会福祉法人は地域のネットワークを活かして、その人に合った方法でサポートしています。



DVなどで悩む方を守り
住まいを提供



生活困窮者自立支援



子どもの未来は、 日本の未来。



仕事をしながら子どもを産み、育てることができるよう、保育所を経営するほか、子育ての不安や悩みを相談できる場をつくり、情報提供なども行っています。

さらに、「子どもの貧困」対策として学習支援や食事支援、居場所づくりを行い、子どもたちの孤立を防いでいます。



子どもの居場所づくり
(食事提供と学習支援)



子育て支援事業



子育てを支える
保育所の経営

支えられる
だけじゃ嫌。
誰かのために
働きたい！



働く喜びを、すべての人に。

さまざまな理由で働くことができない人がいます。
でも、周りの理解やワークシェアなどの工夫で、
その人らしく働くことができます。



さまざまな働き方を支援



糸をつむぐように、 人と人をつなぐ。

社会福祉法人がもつ関係機関とのネットワークを活かし、地域の人々とともに、互いに支え合うことができるまちづくりを進めています。



災害時には 全国から 駆けつける!

災害などが発生したら福祉避難所を開設するなど、ただちに地域を支える体制を整えます。全国に広がる社会福祉法人のネットワークを活かして、支援物資の搬送や、福祉の専門職派遣なども相互に行います。

全国に広がる
社会福祉法人の
ネットワークを
活かして



被災地で活動する支援スタッフ



福祉避難所として、地域で
特別に支援を必要とする人々を
守ります

公益性の高い、非営利法人。

非営利で公益的な活動をしているため、法人所得税などは原則、非課税です。その信頼に応えるため、収益のすべてを福祉サービスに還元するなど、いくつかの約束事があります。

行政の監査を
定期的に行
受けています

収益はすべて
福祉サービス
に還元

急な撤退で
利用者を困ら
せることは
ありません



責任ある
経営を

制度がなかったからこそ。

社会福祉法人の源流は、戦争で親を亡くした孤児など衣食住に困っている人々、特に妊婦や病児などに対し、篤志家たちが経済援助や教育活動を行ったのが始まりです。その志を受け継ぎ、いまでも行政の手が届きにくい部分に目を向け、地域のニーズに即して活動しています。

今もなお、
社会福祉法人の
強みです。

制度がない
ところでの
ニーズ発掘と
実践は、



私たちが
受け継ぐ！



日本の福祉の
充実・発展は

時代とともに、 地域とともに、 ずっと続ける。

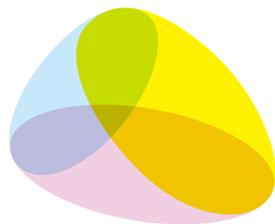
近代経済の父として知られる渋沢栄一氏。
社会福祉の発展にも大いに貢献しました。国も自
治体も福祉に手が回らなかった時代に、慈善活動
に取り組む篤志家たちを組織しました。

日本の
慈善救済は、
遅れている！
国民の
自営自活の精神を
阻害することなく、
慈善救済活動を
進めよう！



1908(明治41)年10月、全
国的な連絡組織として設立
された「中央慈善協会」の
発会式で渋沢栄一は初代
会長として挨拶しました。

写真：渋沢栄一
(1909年撮影／渋沢史料館所蔵)



みんなの「生きる」を 社会福祉法人

<わたしたちの使命>

私たちは、慈善の精神を源流とし、人間の尊厳を守り、
多様性を受け容れる社会の実現をめざして活動しています。

地域のさまざまなニーズに応じて、
質の高いサービスの提供と責任ある経営に努めることにより、
福祉の充実、発展に貢献していきます。